



'96年ヴェネチア国際映画祭正式出品作品



JEFFREY WRIGHT
DAVID BOWIE
DENNIS HOPPER
GARY OLDMAN
MICHAEL WINGETT
BENICIO DEL TORO
CLAIRE FORLANI
COURTNEY LOVE
PARKER POSEY

BASQUIAT[👑]

愛されすぎたイノセンス

バスキア

ジュリアン・シュナーベル第1回監督作品

デヴィッド・ボウイ / デニス・ホッパー / ゲイリー・オールドマン / ジェフリー・ライト / ベニチオ・デル・トロ / クレア・フォルラニ
バーカー・ホージー / マイケル・ウィンコット / クリストファー・ウォーケン / ウィレム・デフォー / コートニー・ラブ / タイタム・オニール

監督・脚本：ジュリアン・シュナーベル 製作総指揮：ピーター・ブラント / ジョセフ・アレン / ミチヨ・ヨシザキ

製作：ジョン・キリク / ジョニー・サイヴァリング / ロンディ・オストロー

撮影：ロン・フォーチュナー 編集：マイケル・ベレンボーム 音楽：ジョージ・ケイル

(サウンドトラック：マーキュリー・ミュージック・エンタテイメント)

原案：レビ・J・マジュスキ 1985年 / アメリカ映画

提供：エース ピクチャーズ / アスミック / シネマデン / 配給：エース ピクチャーズ

👑 MIRAMAX

1988年、27歳の若さで世を去った伝説の天才画家バスキア

誰もが、無垢な魂にふれたいと思っていた。みんな虚飾にうんざりしていたんだ。

J・シュナーベル

バスキア



96年ヴェネチア国際映画祭正式出品作品

1996年/アメリカ映画/サントラ・マーキュリー・ミュージック・エンタテインメント/1時間47分
提供 エース ビクチャーズ、アズミック、シネマテン/配給 エース ビクチャーズ



「あいつは描いている時が、一番幸せだった」

J・シュナーベル

アンディ・ウォーホルなど多くの人に愛され、輝かしい作品を残し、
88年、27才の若さで他界した伝説の天才画家ジャン＝ミシェル・バスキア。
その知られざる生涯、ホットなNYアートシーンを、バスキアの親友にして、
アート界のスター、ジュリアン・シュナーベルが映画化、愛情込めたまなざしで描く。
イノセントな空気を放つ“バスキア・ワールド”、そして、それ以上に、あまりにも多くの人を魅了した、
“バスキア自身”に迫り、栄光と孤独に彩られた27年を駆け抜ける——
なぜ人々はバスキアに熱狂したのか？

（ 80年代のNYは
巨大なパーティ会場だった。
誰もが斬新なアートに
目を血走らせていたんだ
J・シュナーベル ）

グラフィティ
バスキアはストリートの落書きアーティスト。家出を繰り返し、ハイスクールを中退、夜はヒップホップ・バンドのDJ。彼が描きつけるメッセージは詩情をたえ、絵は原始的な色彩とパワーにあふれていた。イノセントなハートそのものを筆にして描いたような心を揺さぶるバスキア・ワールド。ウォーホルが絶賛し、NY中の画商が群がった。一夜にして、人気アーティストに。まさにアメリカン・ドリームだ。

ほとぼるするその才能にニューヨーカーは魅了される。有名人とのパーティ、女たち、金… 80年代のジェームス・ディーン。黒人で初めて成功したアーティスト。としてニューヨーク・タイムズの表紙を飾り、時代の寵児となる。作品は、高値で飛ぶように売れてゆくが…

多くの人に愛されながら、傷つきやすい魂を持ったバスキア。ジミ・ヘンドリックスに憧れ、ヘロインに手を出し、恋人は去っていった。そんな時、敬愛するウォーホルの死の知らせが届く…



キース・ヘリング リーホー P.I.L. '80ストリートカルチャーを駆け抜けた
ストリート・キッズからスターへ。センスあふれるバスキアのライフスタイルはこの映画のもう一つの見どころ。ハンサムなブエルトリカンで、パロウズを愛読、ヒップホップバンドのDJ、コム・デ・ギャルソンのショーに出演、ダウタウンの“マッドクラブ”でデボラ・ハリーと意気投合し、デビュー前のマドンナとつき合っていた。映画に登場するアートはシュナーベルのカパキ・ペインティング、ヨゼフ・ボイス、ジョン・メカス、音楽はP.I.L.、PJハーヴェイ、チャーリー・パーカー、グランドマスター・フラッシュ、トム・ウェイツ、サイケデリック・ファーズ、ローリング・ストーンズ、デヴィッド・ボウイ、ジョン・ケイル、デヴィッド・バーン、ブライアン・イーノなど35曲。バスキアのアトリエにはいつも最大ヴォリュームの音楽があった。

（ ボウイがウォーホルを/
有名人が有名人を
ノリノリに演じる、
シュナーベルらしい
遊び心いっぱいだ
『ヴォーク』 ）

実在の有名人の、豪華キャスティングが話題だ。ウォーホルをデヴィッド・ボウイが（ウォーホルが実際に使用したカツラ、サングラス、ジャケットを着用）、大物画商ブルーノ・ビショッパベルガーをデニス・ホッパー、シュナーベルらしき“人気アーティスト”にゲイリー・オールドマン。その他、クリストファー・ウォーケン、ウィレム・デフォー、テイタム・オニール、コートニー・ラブの強烈な印象、そして、バスキア役のジェフリー・ライト（トニー賞俳優）、画商メアリー・ブーン役のパーカー・ポージー（『愛・アマチュア』）はじめ、ベニチオ・デル・トロ（『ユージュアル・サスペクツ』）など若手アクトーのみずみずしい演技も評価が高い。

「繊細、人生への深い洞察。この映画に奇跡を起こした」（『バラエティ』）と絶賛され、96年ベネチア映画祭正式出品を果たし、世界中で大ヒット、バスキア回顧展も相次いで開かれ、バスキア・ブームを巻き起こしている。

7月12日(土)より待望のロードショー!! (/ まで)

前売鑑賞券絶賛発売中!

一般1,500円(当日一般1,800円の処)
学生1,300円(当日学生1,500円の処)

※劇場窓口、チケットぴあ、ローソン、EST-1、阪急、阪神は各プレイガイドでお求めください。
※最終日は劇場までお問い合わせ下さい。

アメリカ村BigStep 4F 06-282-1460

パラダイス・シネマ

連日 10:50 1:00 3:10 5:20 7:30